



武蔵野 トークン・アバウト (Talkin'About)

武蔵野駅前にある武蔵野プレイス。知のターミナルともいえる図書館の中に、文学や映画について語り合う場「トークン・アバウト」を主催する「カフェ・フェルマータ」があります。



主宰の松井隆雄さん

カフェに集う知らない人同士が語り合い、刺激し合う場

演劇、文学、映画、哲学、現代美術、漫画、お笑いなど、多岐にわたる文化ジャンルの中からある一つのテーマを決め、参加した人たちが自身の言葉で語り合う「トークン・アバウト」。カフェやバーなどの飲食店を会場にしたこのトークイベントは大阪で始まり（扇町トークン・アバウト）、のちに「御堂筋トークン・アバウト」と名称変更）、この試みを取り入れ、2011年よりスタートしたのが「武蔵野トークン・アバウト」です。場所は武蔵野プレイス1階のオープンスペースにある「カフェ・フェルマータ」。図書館内という特性から、本、そして映画をテーマにしたトークン・アバウトを月2回、開催しています。

会を運営・主宰するのは松井隆雄さん。カフェのオーナーでもある松井さんは、中学・高校時代をヨーロッパで過ごし、ヨーロッパに根づくカフェ・コミュニティを故郷である武蔵野市で形にしたいという思いのもと「フェルマータ」の経営を始めました。



「本の会」には毎回さまざまな本が持ち寄られる。



「映画の会」ではそれぞれお気に入りの映画を紹介し合う。



さまざまな企画で開催中。写真は「アフリカ会」の様子。



日本人だけではなく参加者には外国人の姿も。

武蔵野プレイスから地域へ語らいの場を広げていく

「サロン、と言っては大げさかもしれませんが、同じまちに住むさまざまな人が集い、会話を楽しむ場という側面をヨーロッパのカフェは持っています。当店もおいしいコーヒーと食事をご提供するのはもちろんですが、人と人が行き交い、情報を交換し、新しい知を感じられる場でありたいと思っています。それを一つの形にしたのが、トークン・アバウトなのです」
毎回盛況で、集まったメンバーからは「今度は英語でやってみよう」「映画の見方をレクチャーしてほしい」などの声が上がリ、通常のトークン・アバウトとはまた別の形へと発展・展開しています。今後は会場を地域の飲食店へと広げ、語り合う刺激の「輪」を大きくしていく予定です。

武蔵野トークン・アバウト

月2回、武蔵野プレイス内の「カフェ・フェルマータ」にて開催。第2火曜日「映画の会」、第3木曜日「本の会」で、参加者それぞれがおすすめを持ち寄って、コーヒーやお酒を飲みながら順番に語る。

カフェ・フェルマータ
武蔵野市境南町2-3-18
<http://www.cafefermata.net/>